

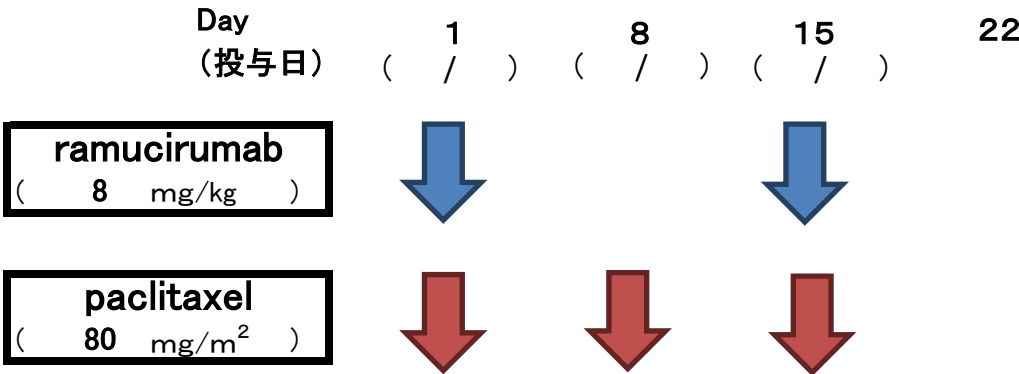
化学療法指示書

RAM+PTX 療法

患者ID		アルコール過敏症:	
患者氏名		指示医師	
身長	cm 体重	kg	体表面積 m ²

適応疾患
※進行・再発胃癌

投与スケジュール



4 週ごと 投薬 (3 週投与 1 週休薬)

レスタミンコーワ錠(10mg) 5錠P.O.
フィルター付きルート要
生理食塩液100mL ルート確保・フラッシュ用

本体①
グラニセトン注(3mg/50mL) 1袋
デキサート(6.6mg) 1V
ファモチジン(20mg) 1A

15分

本体②
生理食塩液 50mL 1V

全開

本体③
生理食塩液250mL 1V
サイラムザ _____ mg
(8mg/kg)(全量250mL)

※
60分

※初回投与の忍容性問題なければ2回目以降は30分投

本体④
生理食塩液50mL 1V

全開

本体⑤
生理食塩液250mL 1V
パクリタキセル _____ mg
(80mg/m²)

60分

パクリタキセルのみの場合

レスタミンコーワ錠(10mg) 5錠P.O.
フィルター付きルート要
生理食塩液100mL ルート確保・フラッシュ用

本体①
グラニセトン注(3mg/50mL) 1袋
デキサート(6.6mg) 1V
ファモチジン(20mg) 1A

15分

本体②
生理食塩液100mL 1V
(経過観察用)

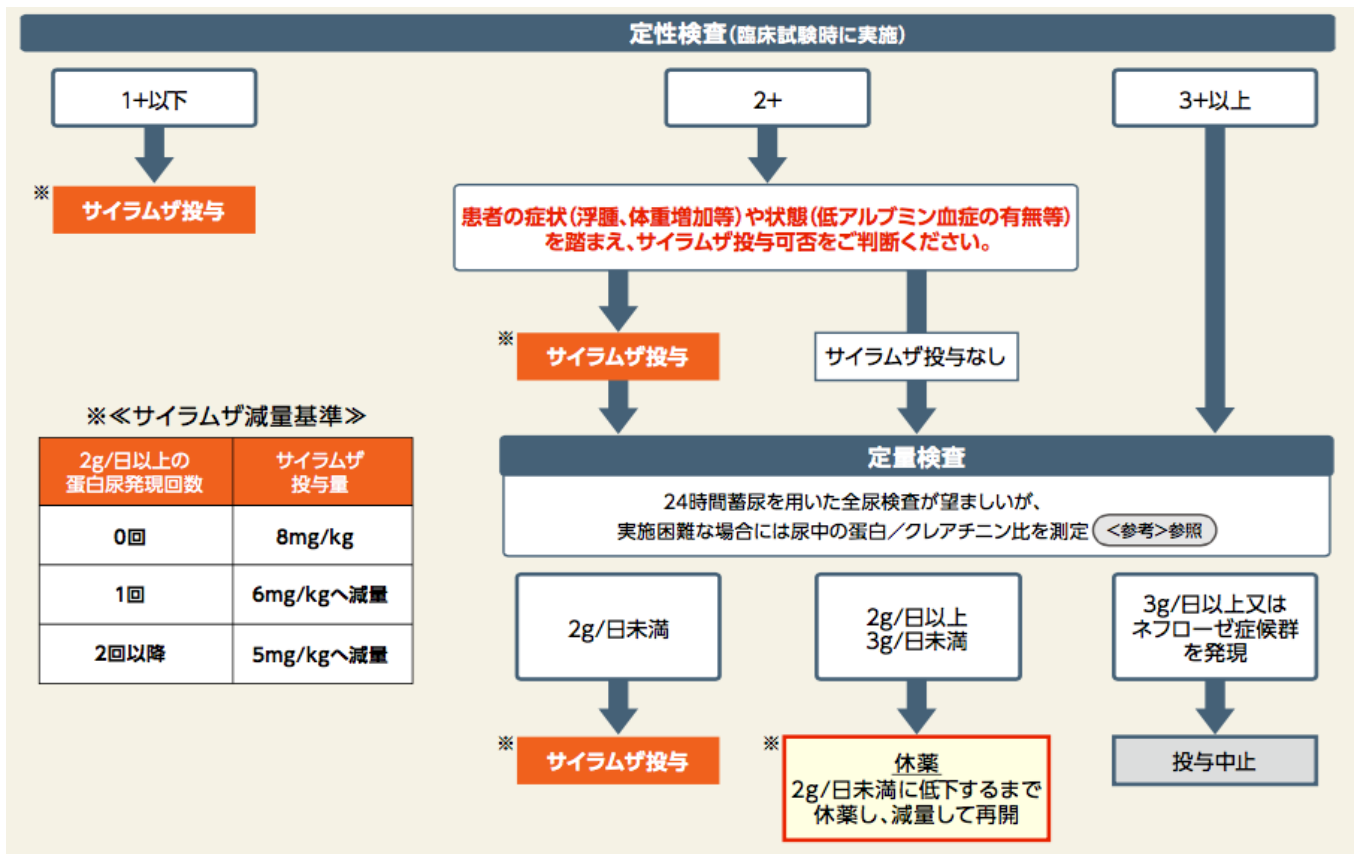
30分

本体③
生理食塩液250mL 1V
パクリタキセル _____ mg
(80mg/m²)

60分

尿蛋白検査及び蛋白尿発現時の対処方法

(サイラムザ投与期間中は、定性検査を実施すること)



<参考>

尿蛋白/クレアチニン比 = 随時尿の尿蛋白定量結果 (mg/dL) / 尿中クレアチニン濃度 (mg/dL)

※尿蛋白/クレアチニン比が0.3~0.5の場合、尿蛋白排泄量は0.3g~0.5g/日程度と推定できる